



令和5年度 長岡小 教育課程 全体構想



学習指導要領の重点

- 社会に開かれた教育課程の実現
 - 「カリキュラムマネジメント」の推進
 - 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善
 - 生活科・総合的な学習の時間の充実
- 内容ベースから資質・能力ベースの学びへの転換
- ICTを活用した授業実践
- 道徳科、外国語科・活動の推進

学校教育目標

みんなが力のつく楽しい学校

めざす子供像

自ら問いをもち、仲間とともに粘り強く課題解決する子供

子供の実態

- 明るく、屈託がなく、外遊びを好む児童が多い。
- 興味関心があることには大変意欲的に取り組む児童が多い。
- 自分たちで主体的に話し合ったり行動したりし、協働して解決に向かっていくことに課題がある。
- できそうなことには意欲的に取り組むが、初めてのことや難しいことには躊躇したり途中でやめてしまったりすることがある。

子供たちに身に付けさせたい資質・能力

- 1 自ら問いをもつ力 【知識・技能】
- 2 課題を解決する力 【思考力・判断力・表現力】
- 3 仲間とともに粘り強く取り組む力 【学びに向かう力・人間性】

山形県第6次教育振興計画

人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり

<テーマ>

つなぐ ～いのち・学び・地域～

- 「いのち」をつなぐ人
- 学びを生かす人
- 地域をつくる人

広い視野と高い志をもって
(全体を貫く基本姿勢)

今年度の経営方針と重点

0 まずは教職員が笑顔に ～子供たちを笑顔にするための土台づくり

- ① 身心の健康と働き方改革の推進
- ② 互いに支え合える温かい人間関係の構築
- ③ 研究・研修等を通じた担任（教師）力の高め合い
- ④ 職員の姿勢
 - 子供の可能性を信じる 待つ・聴く
 - 授業で勝負する 疑問形で指導する

1 資質・能力ベースの学びづくりの推進

- ① 「自ら問いをもつ力」の育成
- ② 「課題を解決する力」の育成
- ③ 「仲間とともに粘り強く取り組む力」の育成
- ④ 全教職員による全教育活動を通じた資質・能力の育成
- ⑤ 子供たちの具体的な姿をイメージした系統表の活用

2 「長岡小いのちの学習」の充実

- ① 各学年の発達段階に応じた計画的な実施
- ② 人間関係づくりの基本の習得
- ③ 温かい人間関係づくりへの支援
- ④ 専門性の高い外部講師の積極的な活用

3 家庭・地域との連携・協働の強化

- ① それぞれの役割や責任の自覚
- ② メールやHPを活用した子供たちの学びの姿の発信
- ③ 公民館との連携強化
- ④ 「地域学習」を通じた地域に貢献する人材の育成

地域等の実態

- 核家族が多い。
- 商店が多く、南側には立谷川工業団地がある。
- 幼稚園・保育園や創学館高校などが学区にあり、交流が図りやすい。
- 公民館が近く、定期的に児童対象の行事なども行われている。
- 読み聞かせや生活科・総合の講師等について協力的である。

天童市の教育

「自立・共生・創造」

未来を描き、問いを立て、
解決・創造する力を育む
学校教育
～根拠を明らかにして
論理的に考え
伝える力の育成～

- 輝く「いのち」育みプロジェクト
- すこやかな「まなび」育みプロジェクト
- 豊かな「こころ」育みプロジェクト

保護者、地域の願い

- 一人一人の子供に確かな学力をつける「わかる授業」を行ってほしい。
- 個に合った支援をお願いしたい。
- 一人一人の子供の存在を大切に、親身になって対応してほしい。
- 一人一人の可能性を引き出し、鍛え、伸ばすとともに、親と子と共に学び続ける教師でいてほしい。

地域とのネットワーク

PTAとの連携

- ・保護者面談の実施
- ・授業参観、学級懇談会の開催
- ・保護者アンケートの実施
- ・PTA活動の充実
- ・学校だよりやホームページ・メール配信による情報の公開

地域社会との連携

- ・学校評議員会・いじめ防止対策委員会の開催、学校評価の活用
- ・地域の教材化
- ・地域の施設や団体の活用
- ・公民館、地域人材、子ども見守り隊、学校サポーターとの連携
- ・よつば学童との連携

幼保小中等との連携

- ・幼保小連絡会の開催(年2回)
- ・三中学区連絡協議会の開催と情報交換
- ・授業交流の実施
- ・スタート・カリキュラムの推進
- ・キャリア教育の視点からの連携
- ・創学館高校、羽陽短期大学との連携